

(1)平成28年1月1日〔第80号〕 共 生

完全参加と
平等 等
〔第80号〕 KYOSEI
きょうせい

発行所：社会福祉法人
山梨県障害者福祉協会
発行責任者 竹内正直
事務所：山梨県障害者社会参加推進センター
山梨県甲府市北新一丁目2-12
(山梨県福祉プラザ1階)
TEL 055-231-3340
FAX 055-231-3344
E-mail:info@sanshoukyou.net
URL http://www.sanshoukyou.net/

年頭のご挨拶

ごとうひとし
山梨県知事 後藤齊

新年明けましておめでとうございます。

日頃より、竹内理事長をはじめ会員の皆様方には、本県の障害者福祉行政の推進に御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、障害者の自立と社会参加については、基本原則を定めた障害者基本法の改正や障害者差別解消法の制定などを経て、障害者の権利に関する条約が批准されるなど、様々な改革が進められております。

本県におましましても、この機会を捉え、障害のある人もない人も分け隔てなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら生活するという共生社会の考え方を取り入れる中で、平成5年に全国に先駆けて制定した「障害者居住条例」を昨年12月に改正し、今年の4月から施行することとしております。

改正後の条例では、障害を理由とする差別の解消に関する新たな章を設置し、障害者差別の禁止や相談体制の整備など具体的な取組等について推進するとともに、県民の障害や障害者に関する理解を促進する取組を進め、差別のない社会を作りたいと考えております。

今後ともこれらの取組を通じて、誰もが社会の一員として互いを尊重し、支え合って暮らす共生社会の実現を目指して、障害者福祉を推進して参りますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、新たな年が会員の皆様と御家族の皆様にとりまして、幸多きものになりますよう、心から祈念申し上げ、年頭の挨拶をいたします。

当たり前のことについて思う

社会福祉法人山梨県障害者福祉協会 理事長
山梨県障害者福祉ふれあい会議会長

たけうちまさなお

竹内正直

ことは、この4月を期して障害者差別解消法が施行される記念すべき年です。

有史以来、差別が如何に人を貶しめ、その尊厳を傷付けて来たかに思いを致すとき、法制度がととのわなかつた時代の、先人の筆舌に尽しがたい苦労が想ばれなりません。

特にこの時期を迎えてなお、心の衝動の愈えないのは、1963(昭和38)年の、アメリカ公民権運動の指導者キング牧師がテロの兇弾に倒れた事件であります。

キング牧師が死によって歿つた、差別が何人といえども犯すことのできない人権問題として世界にアピールしたこと、加えて「変化は不可避の車には乗って来ない。変化は継続した斗争の中から生まれる」という言葉を遺したことは、その後の障害者運動にどれ程の弾みとなったことか。

あれから半世紀を経て、ようやく我が国に、世界に、この当たり前の、人による人の差別が無くなる機会が訪れたのです。

当たり前のことが、能率優先、科学万能の時代になお、人の幸せが置き去りにされたり、見過ごされていることはないか、もう一度この記念すべき年の初めに、身辺を仔細に見直したいと思います。

この広報紙は、一部共同募金の配分金によって発行されています。

(2)平成28年1月1日〔第80号〕

第26回 障害者の主張大会を開催

1月6日(日)山梨県防災新館にて「第26回障害者の主張大会」を開催しました。

今回は11名の方が発表し、挑戦する心や周囲の方と繋がり、共生社会に向けた主張を力強く発表されました。

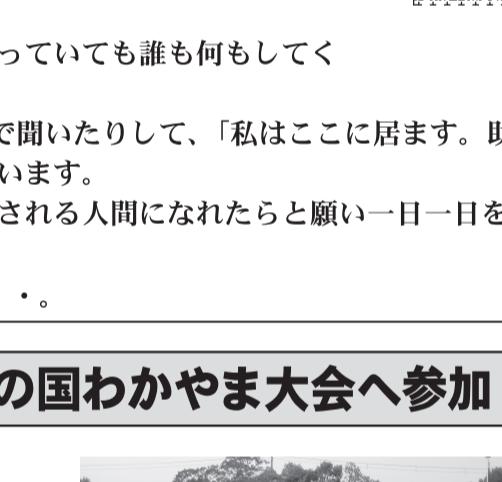
受賞者は次のとおりです。

●最優秀賞 馬場正江 ●優秀賞 成鷗徹

●特別賞 有泉政弘 山角隆次 木内孝明 若尾孝行

●努力賞 筒井淳 星野亘沢 深谷眞紀子 大原章嘉 藤野忠臣

当事者自らが発表をする障害者の主張大会は毎年障害者週間に中開催しています。



(最優秀賞受賞作文) 障害者になって気づいた事

ばばまさえ

馬場正江

私が身体障害者手帳所持者になったのは、今から十九年前になります。

心臓機能障害三級です。障害者となつてすぐ地元の障害者福祉会員になりました。

そして十年くらい前から田富町、中央市と障害者福祉会会長をやらせて頂いています。

そんな立場から、障害のある方達と接することが多くなりました。

皆さんと親しくなるにつれて、生まれつきの障害を持っていても明るく逞しく頑張って人生を楽しむ送っているたくさんの人を知るようになり、事あるごとに感心させられています。本当にしっかり生きているなあと感じています。

今、世の中は、昔に比べて障害があつても生きやすくなっています。福祉の充実で助けられることが多いなと思っています。

しかし(一部かもしれません)政治家は、選舉に立候補した時は、「福祉に力を入れます。」とか

力説しても、当選しません。高齢者や障害者にあまり気持ちが行っていない気がしています。

福祉にかかる制度のお金は政治家本人が使うのではなく、行政機関です。力を入れますと言った以上せめて、もう少し障害と障害者に対し関心をもって、心に寄り添って欲しいのです。声を聞いて欲しいのです。

「障害に甘えてはいけない。」とは思っていますが、あまりにも無関心の方が多い気がします。

もう一つは、障害当事者は素直な気持ちを持ってもらいたいと思います。

ある会議の中で障害児を育てているお母さんが、ご近所の人から「大変でしょう?」と言われるけれど、自分の子供を育てているのに「大変でしょう?」なんて言わせたくない、と怒っていました。

これはハンディを負っていることで突っ張っている言葉だと思いました。

時には気丈にしなければならない時もあるでしょう。しかし子育ては健常な子でも大変です。まして障害を抱えていたらさぞかし大変だろうと、普通に抱く感情で、優しい気持ちからかけた言葉だと思います。

「ありがとうございます!でも自分の子供だから大変って感じた事はないよ。」と答えたなら、その後のその方との関係もしっかりと行なうべきだと思います。

ある日のスーパーで、レジが終わり買い物をレジ袋に入れるのに手こぎでいる女性がいらっしゃったので、私は「開けましょうか?」と声をかけました。返ってきた言葉は、「いいです!」という強い口調でビックリしました。「リハビリになるから」とか、「ありがとうございます!」とかの返事があれば良かったのですが、私は例え親切であっても他人にはあまりかわらない方が良いのかな?と、戸惑うばかりでした。

それからもう一つ、かかりつけ医院での出来事です。私はジエネリック薬品を薬局で購入しようと聞いかけで「馬場さんは関係ないかな?」と言われました。私は医療費を助成していただいているからです。でもその助成を心苦しく感じながら大変感謝して受けていること、効き目が同じならジエネリックで十分ということを伝えました。そして周りの人はそういう目でみているんだなあと悲しい気持ちになりました。

(3)平成28年1月1日〔第80号〕

日頃中央市福祉会の皆さんには、機会がある度に「可愛い障害者、愛される障害者になつてください。ご近所とは仲良しくて困ったときにはすぐ助けてもらえるよう心掛けてください。」と話しています。

それからもう一つ、障害者だからといって黙っていたら待っていても誰も何もしてくれません。

自分で欲しき事や、やってもらえる事を調べたり役所で聞いたりして、「私はここに居ます。助けて下さい。」と声を出さなければ駄目だという事を伝えています。

そして私は動ける体なので、できる時にできる事をして愛される人間になれたらと願い一日一日を精一杯大切に生きていきたいと思っています。

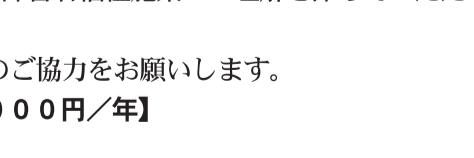
「なきは他人の為ならず」の言葉をいつも心に秘めています。

第15回 全国障害者スポーツ大会 紀の国わかやま大会へ参加

去る10月24日(土)～26日(月)の3日間、和歌山県紀の国公園陸上競技場で、上記大会が開催されました。

代表選手による活躍で、金メダル10個、銀メダル11個、

銅メダル3個の合計24個のメダルを獲得しました。



県障害者初級スポーツ指導員養成講習会受講者募集の案内

隔年で行われている障害者初級スポーツ指導員養成講習会を、平成27年度事業として県福祉プラザや緑が丘スポーツ公園で開催いたします。

講習内容は、障害者の理解や障害者に応じたスポーツの工夫など、4日間の日程で行ないます。

障害者スポーツの指導に興味がある方は、ぜひ受講してください。

詳しい内容は当協会HPをご覧ください。

「こんな駅伝、見たことない」パラ駅伝 2015 大成功

前回号でお知らせした「パラ駅伝 in TOKYO 2015」が、日本財團パラリンピックサポートセンターの主催で、1月29日(日)駒沢オリンピック公園陸上競技場及びジョギングコースにて開催されました。

開会式には、八代英太実行委員長の他、舛添要一東京都知事、元水泳金メダリストの鈴木大地スポーツ部長など名だたる顔が挨拶され、会場には1万4千人の観客が押し寄せました。

今までに見たことのない駅伝ということで1区は視覚障害者及び伴走者、2区は健常者男子、3区は車椅子走者女子、4区は健常者女子、5区は肢体不自由者(立位)、6区は知的障害者、7区は聴覚障害者、8区は車椅子走者男子の8名が、全長20,050kmをつなぎました。

山梨チームは「山梨Meteor(メテオ)」。Meteorとは「流星」という意味で、流星のように速くの祈りを込め、キャッチフレーズは「流星は高くかかげられ、一瞬にして駆け抜ける!」としました。

すべての選手が全力を出し切り、流星のごとく走り抜け、出場19チーム中5位と健闘してくれました。

中でも、第6区を走った五味翔太選手は、すべての選手の中で最も速いタイムをたたき出し、区間賞に輝きました。

また、大会サポートとして、SMAと宝塚歌劇団が駆けつけ、大会を盛り上げました。

なお、この大会は2020年のパラリンピックまで行われる予定です。

それからもう一つ、かかりつけ医院での出来事です。私はジエネリック薬品を薬局で購入しようと聞いかけで「馬場さんは関係ないかな?」と言われました。私は医療費を助成していただいているからです。でもその助成を心苦しく感じながら大変感謝して受けていること、効き目が同じならジエネリックで十分ということを伝えました。そして周りの人はそういう目でみているんだなあと悲しい気持ちになりました。

(4)平成28年1月1日〔第80号〕

県民の日協賛事業「ふれあいマーケット」「ふれあい芸能まつり」盛況

1月14日(土)、15日(日)の2日間、小瀬スポーツ公園にて、山梨県障害者福祉ふれあい会議の県民の日協賛事業、「ふれあいマーケット」「ふれあい芸能まつり」を開催しました。

記念行事交流広場「日ステージ」

1月14日(土)の午前、小瀬スポーツ公園にて、山梨県障害者福祉ふれあい会議の県民の日協賛事業、「ふれあいマーケット」「ふれあい芸能まつり」を開催されました。

1月15日(日)の午前、小瀬スポーツ公園にて、山梨県障害者福祉ふれあい会議の県民の日協賛事業、「ふれあいマーケット」「ふれあい芸能まつり」を開催されました。

記念行事交流広場「日ステージ」

1月14日(土)の午前、小瀬スポーツ公園にて、山梨県障害者福祉ふれあい会議の県民の日協賛事業、「ふれあいマーケット」「ふれあい芸能まつり」を開催されました。

記念行事交流広場「日ステージ」

1月14日(土)の午前、小瀬スポーツ公園にて、山梨県障害者福祉ふれあい会議の県民の日協賛事業、「ふれ